

令和5年 10月31日

大河原町議会議長 岡崎 隆 殿

文教厚生常任委員会

委員長 佐藤 巖

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1. 開催の日時 令和 5年 10月19日(木)
10時00分から11時40分
2. 開催の場所 大河原小学校
3. 出欠委員の氏名 佐藤 巖 大沼 常次 秋山 昇 山崎 剛
出席委員 中村 淳
欠席委員 丸山 勝利 佐藤 暁史
4. 説明のため出席した者の職氏名 大河原小学校校長 杉山 義隆
同 教頭 坂本 謙
教育総務課長 櫻田 尚
同 課長補佐 小野寺 淳一
同 主幹 半澤 政昭
5. 議会事務局の出席職員の職氏名 議会事務局長 齋 修
同 局長補佐 伊藤 みどり
同 主事 佐藤 邦彦
6. 所管事務の調査事項
 - (1) 大河原小学校の現況と課題について(学校からの説明)
 - (2) 学校の施設設備等の現況について(現地確認)

7. 調査の内容

(1) 学校側からの説明

① 職員構成の課題及び働き方改革への取組

■ 職員構成	20代	16名	30代	10名	40代	9名
	50代	8名	60代	8名		

20代、30代の職員が多い。

■ 働き方改革への取組

- 学校日誌の電子化 (Excel)
- 会議の精選
- 校務分掌の平準化
- 電話対応の制限
- 金曜日時間割の短縮化
- 定時退庁日の設定
- 学校だよりのメール配信

■ 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

- ◆ いじめの認知件数 2件
- ◆ 不登校 15名

■ 学校施設設備、備品等の状況

- ◆ プールの床、壁面について6年度補修予定
- ◆ 備品等の購入については予算内で済む予定

□ 説明を受けての質疑

Q 学校でのいじめや不登校に対する対応はどのようにしているのか。

A 4年度はいじめ発生件数が2件という数字ではあったが、今後はいじめの認知条件を緩和することとした。不登校については、子どもの問題より家庭に問題があることが多い。

Q 学校に対するクレームの状況は。

A 多少はある。クレームがあった場合、担当者のみでの対応だけでなく学年主任や教頭などが中に入って対応しているので、深刻な問題には至っていない。

Q 教員の勤務時間外での子どもの問題行動への対処について、どのようにしているのか。

A 午後6:30分以降は学校の電話は「留守電」に切り替わるが、緊急の場合は教頭に連絡が入る体制をとっている。また、子どもに緊急の事象があった場合、勤務時間外であっても教員にはその対応にあたってもらうよう指示している。

(2) 学校の施設設備等の現況について(現地確認)

- プールの床に水が入ってしまい「よれた状態」になっている。教育委員会もこの状況を把握しており、補修の検討をしているとのこと。
- 今夏の猛暑により、8月はプールを使った水泳指導ができなかった。しかし、猛暑であっても、毎日のプールの水質管理はしっかり行わなくてはならず、そのために薬剤が必要以上に要した。

- 職員の駐車場の確保に苦慮している。現在、自前の駐車場だけでは足りないために中学校職員駐車場の一部を使わせてもらっている。
- 校庭にある遊具等については、来年度、器具の移設や更新を行いたいので教育委員会と相談している。

8 まとめ

- (1) 教室に入れない子どもの対応については、今後も町の「心のケアハウス」等と連携を取り合って進めてほしい。
- (2) 職員の男女比の構成は女性が男性より多く、このことは、教員採用試験から始まり、選抜試験の結果、男性より女性の方が成績が良かったために、このような構成比になっている。
- (3) タブレットの活用状況については、指導者の想像を超えた使い方をしており、学校のICTの目的に十分に迫っている。
- (4) 大河原町では今年度から2学期制になったが、この制度に子ども、保護者とも慣れて特に問題もなく過ごしている。学校においては、子どもの評価の観点において適正な期間があることで事務の効率化も図られている。
- (5) 大河原小学校は、今年度30学級を抱え、教頭が2人態勢なので職員定数は33名である。これに加えて加配として11名が配置されている。町費負担の職員は5名配置されている。
- (6) 今年度で県からの研究指定校としての任期は終了したが、来年度においてもこれまでの研究を更に深め、継続していくために自主研究を続けていく。